

我が国唯一の 聴覚・視覚障害者のための大学

聴覚障害系支援課
情報保障支援係
小貫 美奈

2023年12月8日（金）関東甲信越地区技術職員懇談会

本日の流れ

筑波技術大学の紹介

本学の技術職員

自己紹介

科研費応募内容のご紹介

本日の流れ

筑波技術大学の紹介

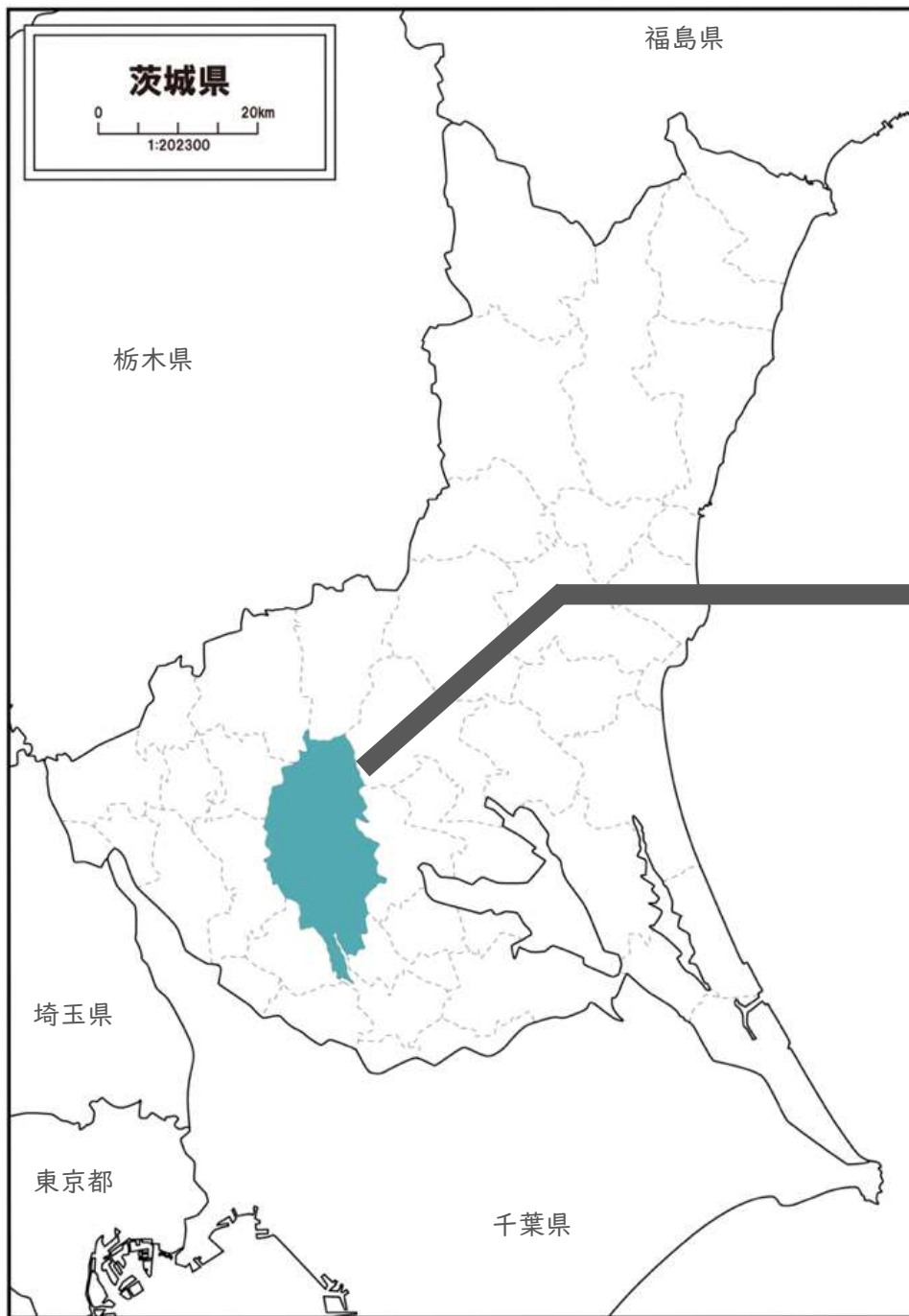
本学の技術職員

自己紹介

科研費応募内容のご紹介

筑波技術大学教育理念 (本学HPより)

「筑波技術大学は
聴覚・視覚障害者のための高等教育機関として、
社会に貢献できる先駆的な人材を育成することを
教育的使命とする。(略)」



茨城県つくば市

地図:白地図専門店 提供データを加工
<https://www.freemap.jp/itemFreeDIPage.php?b=japan&s=japan2>



時期	沿革抜粋
S62 (1987) .10	本学 (短期大学) 設置
H2 (1990)	聴覚 第1期生入学
H3 (1991)	視覚 第1期生入学
H17 (2005) .10	国立大学法人 筑波技術大学開学 (4年制に移行)
H18 (2006)	学部 第1期生入学
H22 (2010)	大学院 修士課程第1期生入学

聴覚障害学生：天久保キャンパス

視覚障害学生：春日キャンパス



産業技術学部
学生数 199名

保健科学部
学生数 110名

大学院 修士課程(3専攻)
学生数 15名

学生数合計：324
教職員数合計：174

※上記はいずれも令和5年5月1日現在

本日の流れ

筑波技術大学の紹介

本学の技術職員

自己紹介

科研費応募内容のご紹介

事務局 (59名)

※契約職員を除く
※令和5年5月1日現在

大学戦略課

総務課

財務課

聴覚障害系支援課

視覚障害系支援課

障害者高等教育
研究支援センター

保健科学部

保健学科

情報システム学科

附属東西医学統合医療センター

産業技術学部

産業情報学科

総合デザイン学科

技術職員在席

技術職員内訳

聴覚障害系支援課

情報保障支援係(5名)

- 技術専門職員 3名
(うち係長1名)
- 技術職員 1名
- 契約職員 1名

視覚障害系支援課

技術係(7名)

- 技術専門職員 3名
(うち係長1名)
- シニアスタッフ 1名
- 契約職員 3名

それぞれの業務内容

情報保障支援係

- 手話通訳・触手話通訳
- PC文字通訳
- 音環境・字幕挿入等

技術係

- 資料の点訳・テキスト化
など

本日の流れ

筑波技術大学の紹介

本学の技術職員

自己紹介

科研費応募内容のご紹介

わたしのこと

小貫美奈



H25(2013).8採用

聴覚障害系支援課 情報保障支援係
技術職員

手話通訳担当(手話通訳士)

そもそも「情報保障」とは？

■聴覚障害における情報保障

“「情報保障」とは、手話や文字などを利用して周囲の音情報をきこえない人に伝えたり、逆に手話や文字などを利用して発せられた発言を音声に変えるなどして、その場にいるすべての人々の「場」への対等な参加を保障する取組のことを指しています。”



日本学生支援機構
「教職員のための障害学生修学支援ガイド
(平成26年度改訂版)」(PDF版)
P.67より抜粋

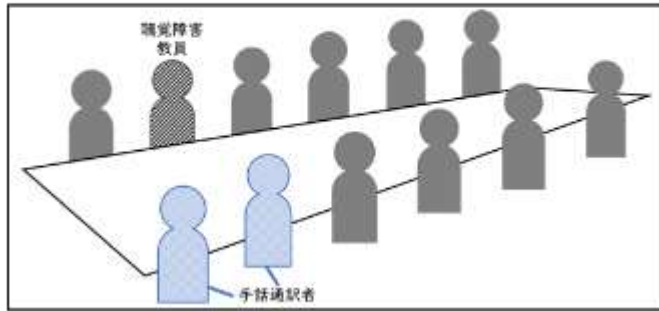
実際の通訳場面： オンライン（Zoom）

※イメージ図

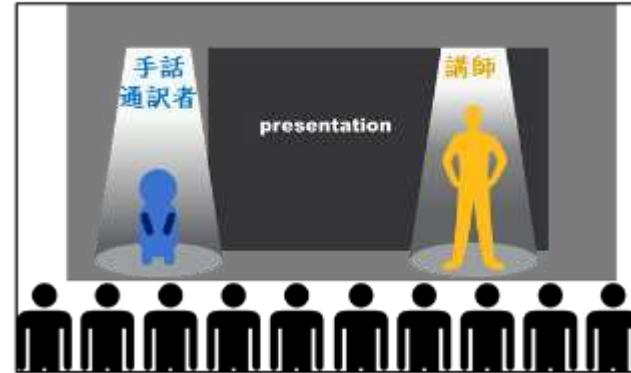


対面

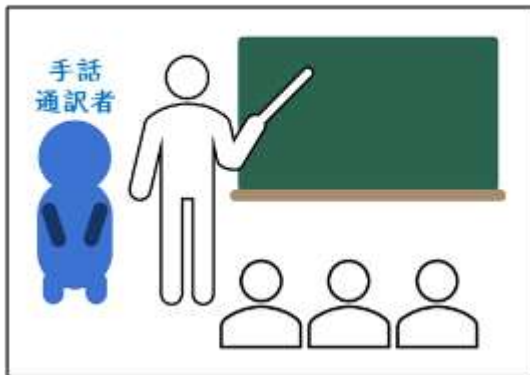
会議



イベント



授業



本日の流れ

筑波技術大学の紹介

本学の技術職員

自己紹介

科研費応募内容のご紹介

コロナ禍での手話通訳

もともと手話通訳業界にオンライン手話通訳のノウハウはほとんどなかった

学内にもオンライン手話通訳の拠点にできる場所がなかった

学内の各所でオンライン手話通訳を行っていたが、その後に手話通訳スタジオが整備された

手話通訳スタジオが整備される際、いくつかのポイントに留意して機材整備を行った

Web会議システム利用時における手話通訳の理想的環境に関する研究

－使用機材を中心に－

目的

オンラインの手話通訳は、従来のWeb会議システムの使い方では対面と同等の通訳の質を担保できない。
本研究では使用機材を中心にオンライン手話通訳の理想環境を明らかにする。

背景・問題意識

本学は、我が国唯一の障害者のための大学で、教職員の約1割が聴覚障害者。日常的に手話通訳を利用している。
元来、国内の手話通訳は対面が基本。Web会議システムを使用した手話通訳のオープンなノウハウがない。
本学の蓄積事例を検証する。

①姿勢が
悪くなる

②目線が下がる

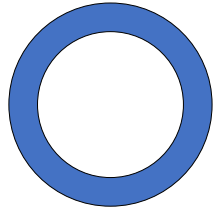
③PC画面が
小さい

④背景が
ごちゃごちゃ

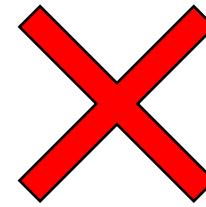
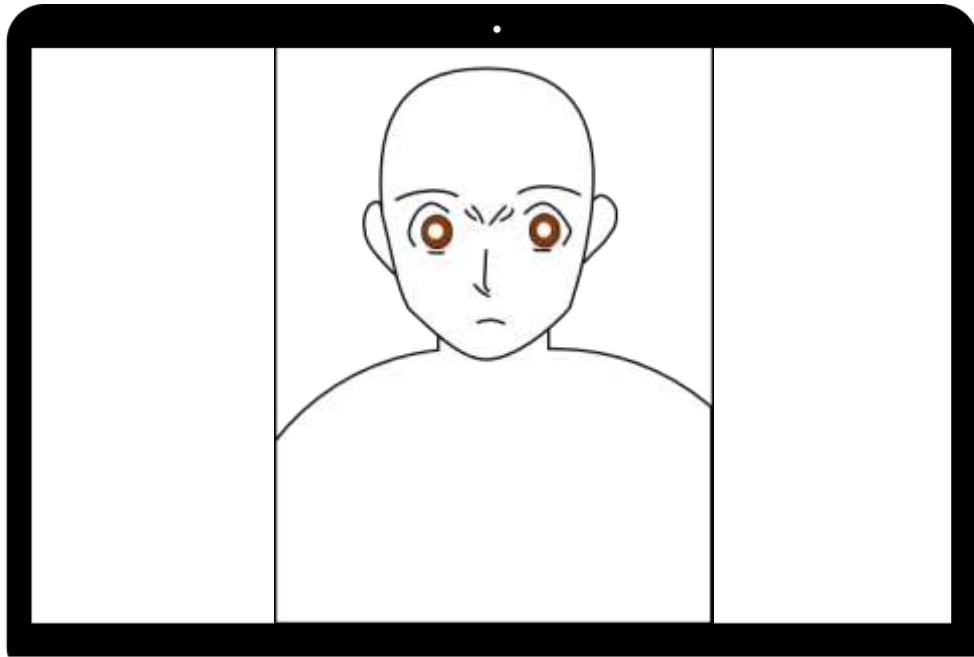
⑤操作をする時
手を伸ばす必要



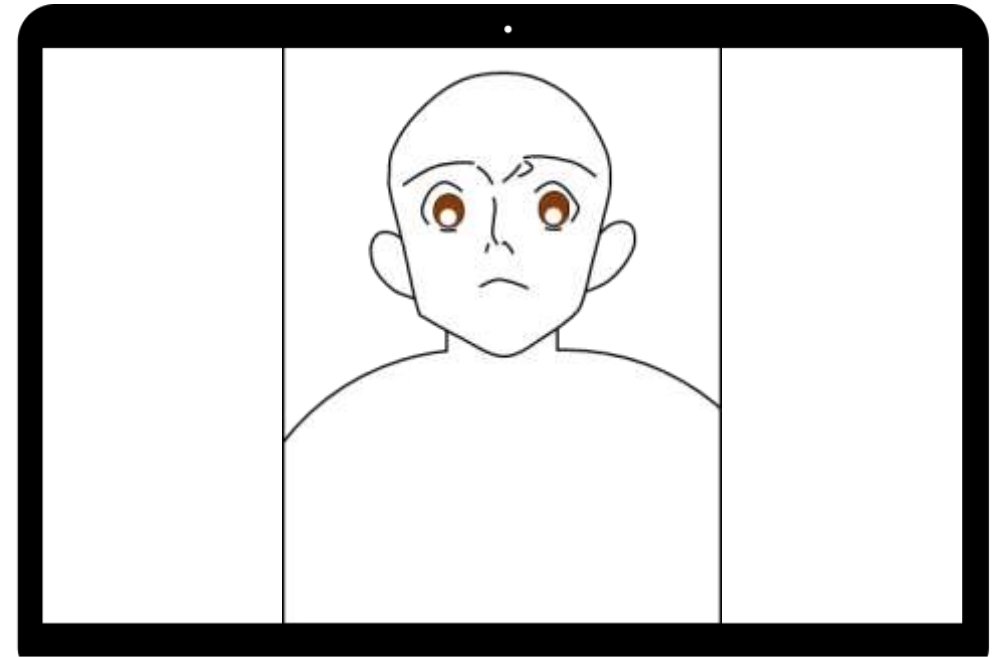
②目線が
下がる



目線の高さ
(自然に目が合う)



手元の高さ
(見下ろされている…)

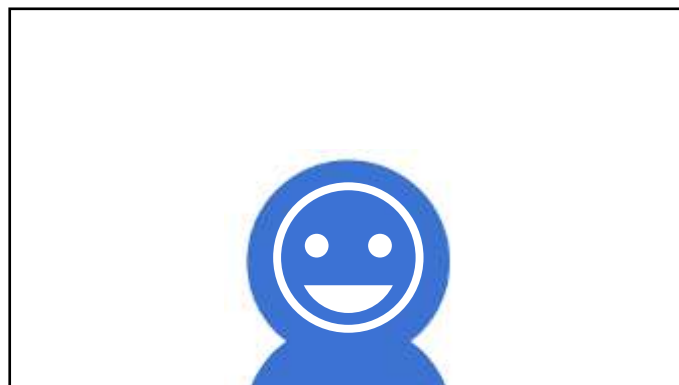


②目線が
下がる

良い例



悪い例



③PC画面が
小さい



④背景が
ごちゃごちゃ

良い例



悪い例



手話通訳スタジオができました！



手話通訳スタジオのポイント



1. 65インチの大型モニター
2. 目線の高さのカメラと
スイッチャー
3. 手元操作が可能な
スピーカーマイク

手話通訳スタジオのポイント



1. 65インチの大型モニター
2. 目線の高さのカメラと
スイッチャー
3. 手元操作が可能な
スピーカーマイク

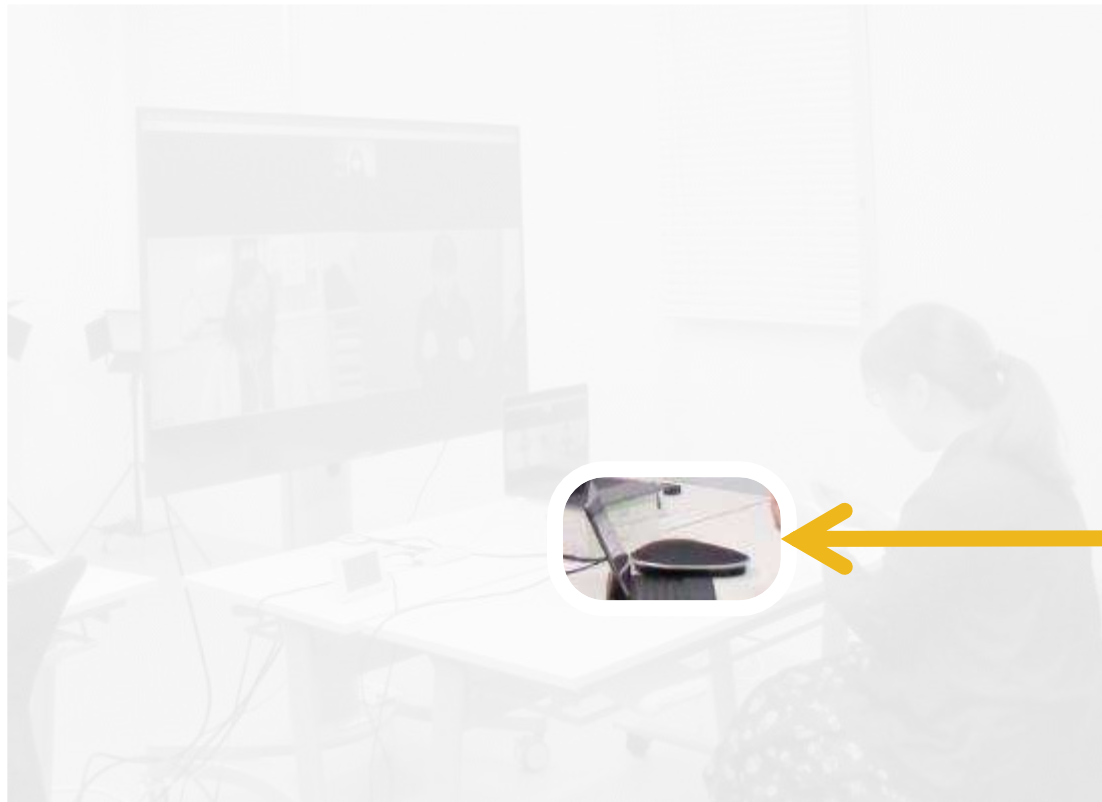
手話通訳スタジオのポイント



後ほど
お見せします

1. 65インチの大型モニター
2. 目線の高さのカメラと
スイッチャー
3. 手元操作が可能な
スピーカーマイク

手話通訳スタジオのポイント



1. 65インチの大型モニター
2. 目線の高さのカメラと
スイッチャー
3. 手元操作が可能な
スピーカーマイク

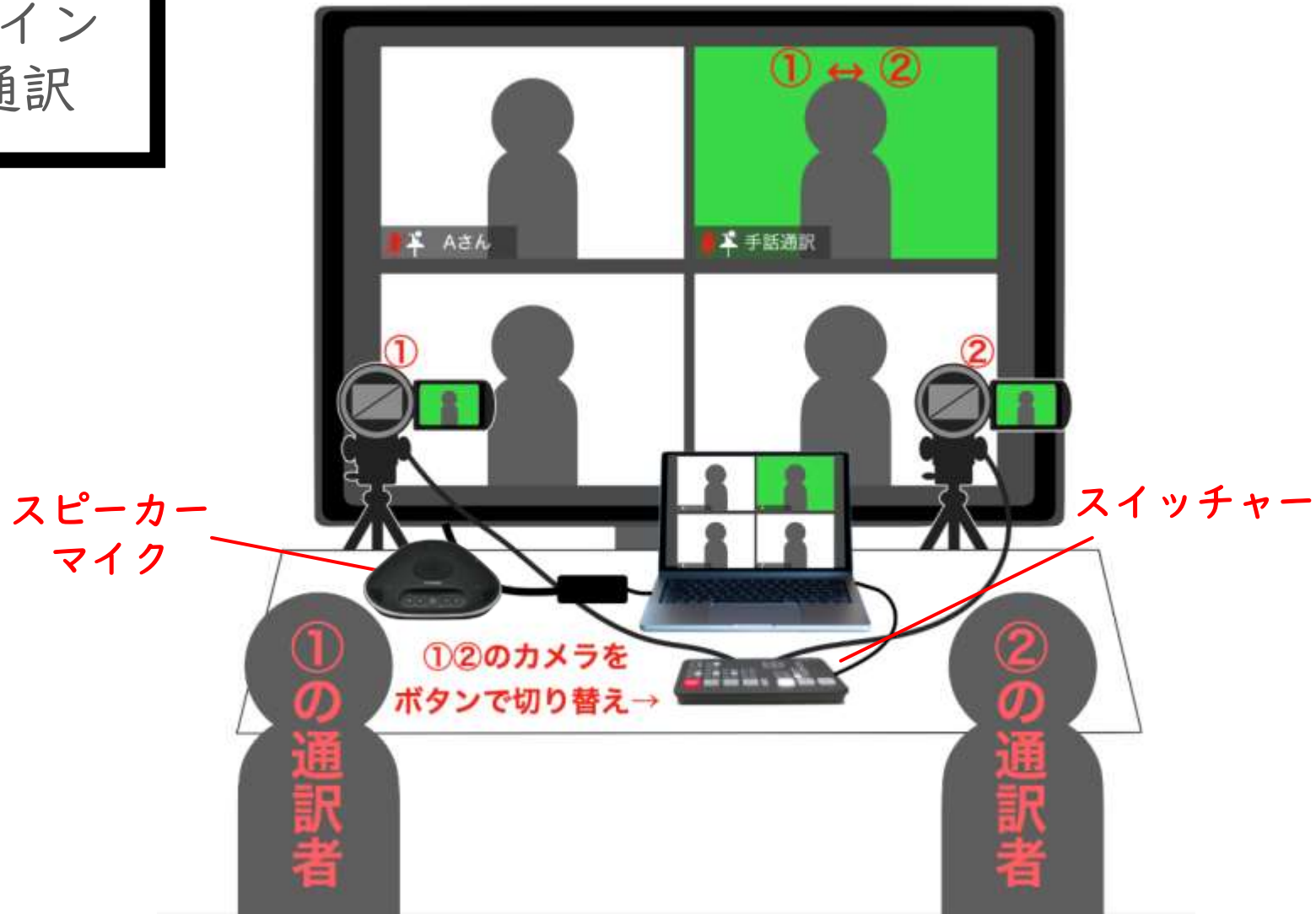
コロナ禍での学内の手話通訳

オンライン
手話通訳

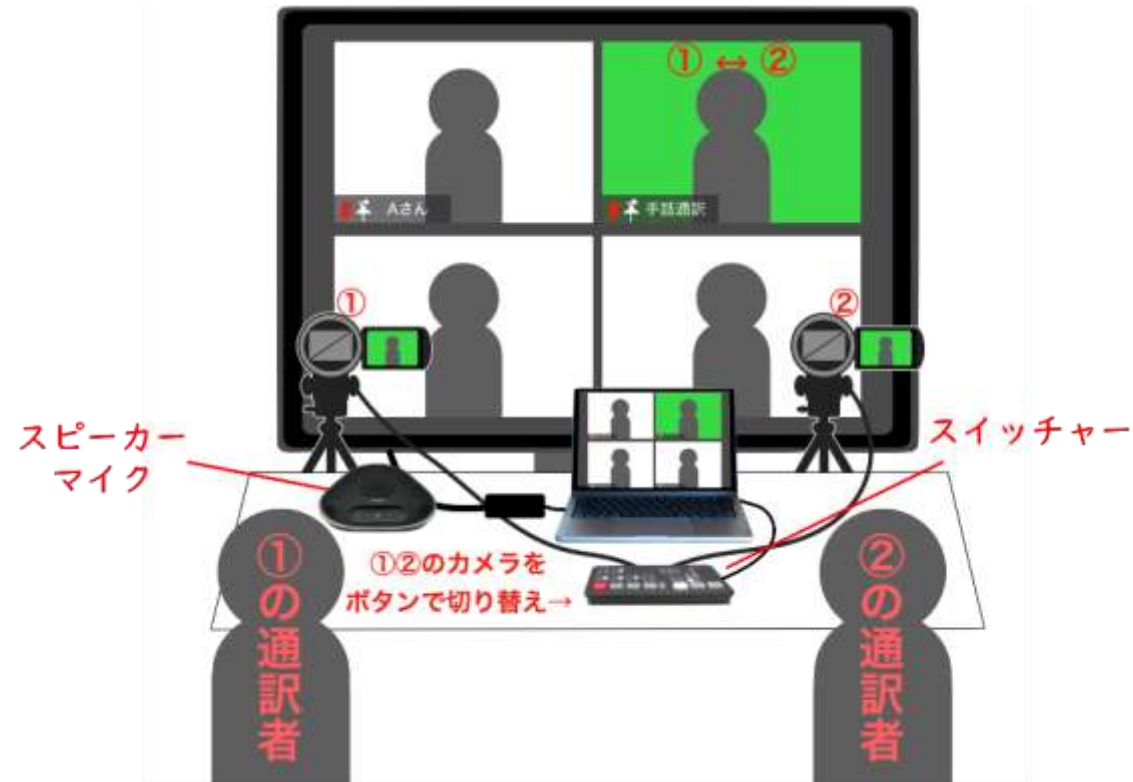


コロナ禍での学内の手話通訳

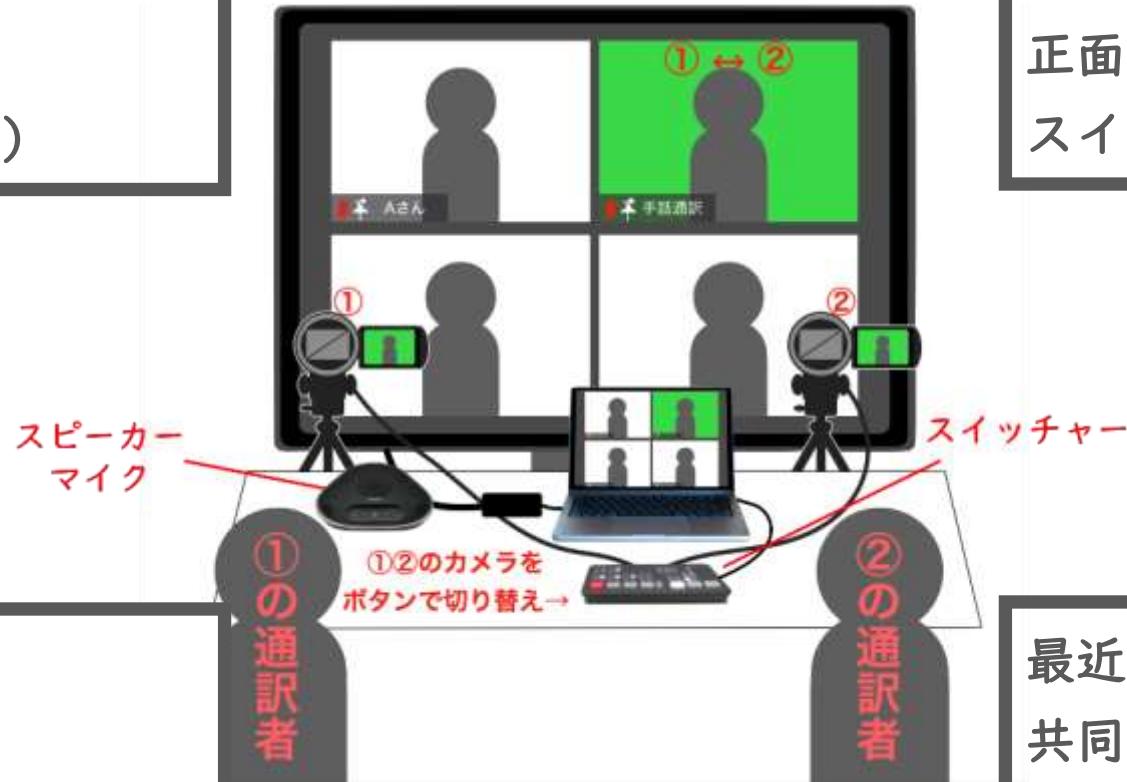
オンライン
手話通訳



なぜこのようなセッティング？



ノートPCでは画面が小さく、
ギャラリービューでは
一人当たりの画面が小さいので
手話が読み取れないため、
大画面が良い（65インチ）



大画面モニターは位置が高いと
首が痛くなるので低めに
また、目線の高さのカメラで
正面から通訳でき、
スイッチャーで切り替えできる

マイクのオン/オフは、
手元の物理スイッチだと
すぐに操作できるので便利

最近は、手話通訳を
共同ホストにしてもらい、
複数の参加者を任意で
ピン留めして必要な人だけを
画面に映している

Web会議システム利用時における手話通訳の理想的環境に関する研究

－使用機材を中心に－

目的	背景・問題意識	2024年で明らかにすること
<p>オンラインの手話通訳は、従来のWeb会議システムの使い方では対面と同等の通訳の質を担保できない。</p> <p>本研究では使用機材を中心にオンライン手話通訳の理想環境を明らかにする。</p>	<p>本学は、我が国唯一の障害者のための大学で、教職員の約1割が聴覚障害者。日常的に手話通訳を利用している。</p> <p>元来、国内の手話通訳は対面が基本。Web会議システムを使用した手話通訳のオープンなノウハウがない。</p> <p>本学の蓄積事例を検証する。</p>	<p>本学の手話通訳は、</p> <p>①講演会②会議③授業に大別される。</p> <p>①は一方向、②③は双方向。</p> <p>今回は①を取り上げ、本学の通訳環境と他事業所とを比較し、本学環境のメリットを明らかにする。</p>